

「総ぐるみ」新聞

第二回座談会 JETRO創設当時のいきさつ等

交流事業として、二回目の座談会を先般十月四日に行いました。今回は、当会の最長老会員でいらつしやる木村清様から、JETRO創立当時、また、大阪万博開催に携わられたお話を、自宅を会場にご提供いただき、うかがいました。その報告です。

●日本の経済復興は貿易から

第二次世界大戦が終了し、大都市は焼け野原状態であったわが国で、戦後の日本経済をどうやって復興させたらよいかという模索が続いていました。

まず、目先の早い大阪商人達から、資源の乏しいわが国が経済的に復興するには、貿易の振興以外にはないという機運が盛り上がり、当時の大阪商工会議所会頭の杉道助氏を中心に動き出しました。

戦前のわが国の貿易は、軍の力で売り込みを行っていたので、「貿易については市場調査が必要」と、昭和二十六年に「海外市場調査会 (Japan External Trade Research Organization ≡ JETRO)」という組織を作り、杉氏が会長、一橋大学の猪谷善一教授が大学を辞めて副理事長に就任。この猪

谷先生が、学生時代からの愛弟子であった木村さんを大阪に呼び寄せたわけで、最初の仕事はJETROの規約作りでした。

このJETROには、お手本がありません。戦後、同じ島国のイギリスで、経済停滞を解消するために、BETROという組織を作って貿易振興を行っていたのです。

●ニューヨークに展示場を開設

貿易市場調査は、世界経済の中心地のニューヨークからということ、五番街の目抜き通りに、日本製品の展示場を作ることになり、昭和二十七年、木村さんはニューヨークに赴任されました。数ヶ月遅れて、木村家は、高校一年生の長女(現、那珂智美さん)をはじめとする三人のお子さんと共に、アメリカの船クリーブランド号に乗り、十二日間かけてハワイ経由でアメリカに渡られました。船内の会話はもちろん英語、フェリスご出身の奥様(周子さん)の英会話が役立ちましたが、在住後はすぐにお子さんの英語のほうが進者になったそうです。当時の日本製品に対する外国の評判は、「安かろう悪かろう」でした。また、展示

NPO 総ぐるみ福祉の会・事務所は
日限山 4・44・23 (八四四―七四七七) の宮崎宅です。
入会や活動についてのお問い合わせは
事務所または「日限山荘」日限山 4・7・1 へお願いします。

場を開いたものの、並べる工業製品はほとんどない状態で、わずかにカメラ・自転車、西陣織などの絹製品や手工業製品などを展示しました。当時はまだ、一ドル≒三六〇円の時代、日本から展示品が届いても、人件費の高いアメリカ人を雇う余裕はなく、夜間、家族全員で飾り付けをしなければなりませんでした。また、イベントやパーティーのときは、奥様お嬢様は着物姿で接待に努めるなど、家族総出で日本製品の評価を「よかろう高かろう」に変えるための、ニューヨークにおける活動でした。

このように民間から出発したJETROでしたが、やがて通産省・外務省などが関係するようになり、昭和三十三年に政府全額出資の特殊法人日本貿易振興会として発



足し、平成十五年十月からは独立行政法人となつて、今や海外五十六ヶ国に七十四の事務所を持つようになっています。

●大阪万博の宣伝部長を引き受けて

昭和四十五年三月十四日～九月十三日まで、大阪で開催された万国博覧会は、六千四百二十一万八千七百七十人という入場者記録を作り、大好評のうちに終了。

この大阪万博の宣伝のため、木村さんはニューヨークの事務所長として活躍。海外から百五十万人日本へ来てもらうことを目標に、外国企業や日本企業を精力的に回つて、参加呼びかけの役目を果たされ、万博を大成功に導かれました。

●PTAという言葉を日本へ紹介

日本では、長らく父兄会または父母会という言葉を使って、学校の先生と両親の交流が行われていました。

戦後大田区の東急池上線沿線の久が原に住んでいた木村さん一家は、アメリカで一般的に使われている父母と先生も加えたPTA (Parents-Teachers Association) という言葉のほうが、実情に合うと提案して、子供さん達に通っていた久が原小学校でまずPTAという言葉を使うようになりまし。その後、PTAという言葉が全国に広がったというお話を、奥様の周子(かねこ)さんより伺い、出席者一同驚きました。木村さんは「古い話で記憶も薄れています。誤りがあるかも知れずご容赦」とのこと。

第三十三回

国際福祉機器展を見学して

総ぐるみサポーター 岡野 美樹

去る九月二十七日から三日間、東京国際展示場(東京ビックサイト)にて行われた表記展示会を見学してきました。開場の午前十時に合わせて行きましたが、

平日というのにすごい人出で、学生等若い人が多く目に付きました。今回は、広大な会場に十六ヶ国一地域の六十三社・団体から約二万五千点の出品があるのです。展示品の一つ一つを説明するのは無理ですので、左表の様に分類してみました。参考にしていただければ幸いです。また当日のカタログは当会事務所にあります。

製品等の類別

主たる製品等

展示数(%)

移動機器	車いす(手動・電動)、福祉車両 車いす関連商品(ベルト・クッション等) 歩行器、歩行補助車、移乗補助機器 リフト(床走行、据置、固定)	六三九(二九・九)
ベッド用品	ベット、マットレス、床ずれ防止用品	一四七(六・九)
入浴用品	入浴用特殊車両、浴槽、入浴用チェア リフト、滑り止め用品	一五八(七・四)
トイレ・おむつ用品	ポータブルトイレ、便器、便座 おむつ各種、防臭消毒剤	一五二(七・二)
日常生活用品	座位保持、立ち上がり補助用品 身体サポート用家具、食食用具、衣類	三〇九(一四・五)
コミュニケーション機器	緊急通報・警報装置、OA機器等の操作 補助具、視覚障害者用誘導システム	一二九(六・〇)
建築住宅設備	手すり、エレベーター、段差解消機材	一六九(七・九)
リハビリ機器	歩行訓練機器、リハビリ用機器、教材	五三(二・五)
義肢・装具	義肢・装具	二〇(〇・九)
防災用品	介護救命袋等	四(〇・二)
介護施設用設備・用品	洗濯機、消毒機、衣類	七八(三・六)
在宅施設サービスおよび 経営情報システム	福祉事業のコンピュータシステム等	七七(三・六)
介護予防機器	筋力・身体機能トレーニング機器、 口腔ケア用品	一二六(五・九)
出版、福祉機器情報	各種マニュアル、図書類	七六(三・六)

(カタログ掲載の2,137点を基に作成)

11月の転倒予防体操 開催予定 会場：荘＝日限山荘、会＝西洗・港南プラザ自治会館を示します。
11/6(月)＝荘、11/9(木)＝会、11/14(火)＝荘、11/21(火)＝会、11/28(火)＝荘
時間は11/6のみ10時30分～11時30分、他はいずれも午後2時～3時まで 講師は小高典子さん